図書館だより

2019年 11月号

清須市立図書館 令和元(2019)年 11月1日発行

- オランダ絵本と音楽のひととき
- 事例から学ぶ 相続 成功させるコツ
- 女性のための
  マネー & ライフプランセミナー

一般企画展示「おいしい本みつけた！」
児童企画展示「えほんのたからばこ」

本の予約・検索が WEB から
もできます！図書館だよりも
毎号掲載中！

清須市立図書館 HP
http://www.library-kiyosu.jp/

最新情報をリアルタイムで更新　公式 SNS　やってます

Twitter
@kiyosu_library

学習席利用状況・新着図書案内・イベント情報などを中心に発信！

Facebook
https://ja-jp.facebook.com/kiyosu.library/

イベント情報・企画展示の案内などを中心に発信！

※各 SNS での返信対応はしておりません。お問い合わせは清須市立図書館まで直接お願いいたします。

今月のこのひと

KONGETSU NO KONOHITO

清須にゆかりのある人物を紹介するこのコーナー、今回は今、新聞・ニュースサイト等で話題、清須市出身の漫画家、棚園正一さんにお話を伺いました。

漫画家 棚園正一 先生

1982 年愛知県生まれ。名古屋芸術大在学中に集英社主催の「少年ジャンプ手塚賞」を受賞。2015 年に出版された不登校経験を描いた作品『学校へ行けない僕と 9 人の先生』（双葉社）はフランス語にも翻訳された。小学館「ビッグコミックスペリオール」で『マジスター～見崎先生の病院訪問授業～』を不定期連載中。

清須市出身!! 話題の漫画家 棚園正一先生を大特集!!

『学校へ行けない僕と 9 人の先生』

棚園 正一 // 著（726.1）

小～中学校時代、不登校だった実体験を基にした作品。影響を受けた９人の先生との出会い、そして、その９人目の先生である 漫画家 鳥山明先生との出会いで世界が変わってゆくまでを描く。

不登校が特別な経験だとは思っていなかった

図書館スタッフ

この度は、話題の著作を図書館にご寄贈頂き、ありがとうございます。新聞・ネットニュースなど、メディアにも多く取り上げられている代表作『学校へ行けない僕と 9 人の先生』について、なぜご自身の不登校体験を漫画にしようと思ったのですか？

棚園先生

担当の編集者さんの勧めです。正直、提案された当時は「そんなの面白いかな？」とピンと来てはいませんでした。それまで自分の不登校が特別な経験だとは思ってかったので。当時の気持ちを漫画にする事に意味があると気づいたのは描いている途中からです。

『ドラゴンボール』鳥山明 // 著（726.1/ ト）

清須市を代表する漫画家 鳥山明先生の代表作。連載が終了した今でも、大人から子どもまで世界中に多くのファンを持つ『ドラゴンボール』は、棚園先生も幼い頃から大好きだったそう。棚園先生の著作『学校へ行けない僕と 9 人の先生』では、そんな様子が随所に見られ、最後にはなんと、鳥山先生と実際にお会いするというエピソードが描かれています。

『学校へ行けない僕と９人の先生』(C) 棚園正一／双葉社

印象的な先生は、憧れの漫画家 鳥山明先生

図書館スタッフ　この作品では、先生が不登校時代に出会った９人の先生との出会いや別れを描いていますが、その中で特に印象に残っている先生はどなたでしょうか？

棚園先生　全員、印象的ではありますが、やはりラストの鳥山明先生でしょうか。それまでの先生たちは、まず僕を「学校へ行っていない少年」という括りの中で見ていたような気がします。ところが鳥山先生にとって僕は、ただの「近所の漫画好きの少年」だったので、その自然な関係が当時の自分にとっては新鮮で貴重なものでした。その相手が憧れの漫画家さんだった事は、本当に有難く幸運だったと思っています。

(C) 棚園正一／双葉社

▲『学校へ行けない僕と９人の先生』より、鳥山明先生との出会いのシーン

苦しんでいる大切な人の気持ちを知るキッカケに

図書館スタッフ　先生は漫画以外でも講演会など、不登校・引きこもりの子どもや家族に関する様々な活動をされているそうですが、詳しくお聞きしてもよろしいですか？

棚園先生　『学校へ行けない僕と９人の先生』の単行本を出版した頃から、自身の不登校体験を語る講演会の依頼が来るようになりました。

不登校･ひきこもりの原因は千差万別です。僕が解決策や答えを持っている訳ではありませんが、自分の体験をお話しする事で、不登校や引きこもりで苦しまれている、大切な人の気持ちを知るキッカケになったり、悩みを少しでも軽くできれば嬉しいです。

『マジスター 見崎先生の病院訪問授業』(C) 山本純士・棚園正一／小学館

『マジスター 見崎先生の病院訪問授業』

棚園 正一 // 著（726.1）

「病院訪問教育」という、長期入院する児童・生徒を対象に教師を病院まで派遣して授業を行う制度を取り上げた作品。過酷な現実を背負う子ども達に何ができるのか、奮闘する教師達を描く。

「病院訪問教育」という制度に惹かれて

図書館スタッフ

『マジスター 見崎先生の病院訪問授業』で、通学して教育を受ける事が困難な子どもたちに向けて、先生が訪問授業を行うという「病院訪問教育」という制度を初めて知りました。なぜこの制度を漫画で取り上げようと思ったのですか？

棚園先生

前作『学校へ行けない僕と 9 人の先生』では学校へ行かなければならないのに、精神的に行けない、という主人公を描いたので、今度は“怪我や病気などで、行きたくても行けない”という気持ちをテーマに描きたいと思いました。最初は院内学級（病院内にある学校）をテーマに取材をしていたのですが、その取材を進めるうちに「病院訪問教育」という制度を知り、そちらにどんどん惹かれていきました。そして、病院訪問教育をテーマに書かれた小説『15 メートルの通学路』と出会い、是非、この物語を基に漫画を描きたい !! と思い、実際に病院訪問教育の教諭である作者の山本純士先生に原作協力をお願いしました。

『15 メートルの通学路』

山本 純士 // 著（B378.4/ ヤ /19）

事故で、病気で、ある日突然長期入院を余儀なくされる子どもたち。今まで当たり前に通っていた学校にも行くことができず、幼くして不安で苦しい日々を過ごす。そんな中で、子ども達と先生が病院で学び、命と向き合う感動作。養護学校勤務の著者が、自身の体験を綴った作品。

人間同士の関わり――それを必要としている子ども達は、確かにいます

図書館スタッフ

学校に行けない子どもと周囲の大人という題材は、小さなお子様とその親御さんが利用者に多い当図書館でも関心が高いと思います。ご自身の作品を、特にどんな層の方に読んで頂きたいですか？

棚園先生

あらゆる層の方に読んで頂きたいです。近年、様々なメディアで取り上げられている不登校をテーマにした『学校へ行けない僕と９人の先生』と、病院訪問教育をテーマにした『マジスター 見崎先生の病院訪問授業』の両作は、同じように人間同士の関わり方が物語の軸となっています。『マジスター』に関して言うと、入院をしている子どもを対象に教師が病院まで出向き、授業をする……この“病院訪問教育”という制度はあまり一般的ではないかもしれませんが、それを必要としている子ども達は確かにいます。物語で描かれる病院訪問教育の担当教師たちの葛藤は、他の様々な仕事や人間関係にも充分、通じる部分があると思います。読んだ方、それぞれの立場で色々なことを感じて頂ければ嬉しいです。

漫画家のお仕事って？一体どんなスケジュール？

図書館スタッフ

次に、興味のある方も多いと思われる「漫画家のお仕事」についてお尋ねしたいです！漫画家の先生は、一日どんな風にお仕事をされるのですか？

棚園先生

僕の場合は１日というか、１月ペースで仕事のスケジュールを組む事が多いです。その場合、だいたい１～２週間目でネーム（下描きの前段階で物語を決める絵コンテのようなもの）・下描き、残りの３～４週間目でペン入れ・仕上げという感じです。

ただ、これはあくまで理想です。実際は他の幾つかの仕事が重なっているので、あまり予定通りには進みません。笑

漫画原稿作成の手順

「プロット」というお話の設計図を決め、「ネーム」という漫画の絵コンテのような段階を経て、原稿用紙への下書きに入ります。

下書き

まずはコマを割って、大体の絵を入れます。

ペン入れ

下書きを元に、ペンで清書していきます。

ベタ

下書きを消し、ベタや集中線を入れます。

完成品は次のページで！

完成！

仕上げ

スクリーントーンを貼って、細かい修正を行えば完成！

漫画家にとって大切なのは“楽しく描き続けること”

図書館スタッフ　最近の漫画家さんはデジタル作画が主流のイメージがありますが、先生は漫画を描くとき、こだわりの道具などありますか？

棚園先生　こだわりというか、気分や仕事内容によって、ペン入れをデジタルにしたり、アナログにしたり変えています。
僕自身はペン先をインクにつけてガリガリと描くアナログの方が好きです。“絵を描いてる!!”って感じがするので。

図書館スタッフ　漫画家に憧れる子ども達は少なくないと思いますが、実際に地元出身の漫画家先生にこうしてお話を聞けると、夢を少し身近に感じられるのではないかな、と思います。そこで、漫画家を目指している方達に向けて、「漫画家にとって大切なこと」をアドバイス頂きたいです。

棚園先生　僕なんかが偉そうに言えませんが、あえて言わせてもらうとしたら、大切なのは”楽しく描き続ける事”だと思います。自分も同じです。これからも楽しく漫画を描き続けたいです。

司馬遼太郎さんの本が好き

図書館スタッフ　さて、ここでそろそろ図書館らしい質問を。好きな本、おすすめの本はありますか？

棚園先生　司馬遼太郎さんの本が好きです。もともとは父の本棚で見つけて、学校へ行ってなかった頃に読みふけっていました。特に戦国時代物が好きで自然と詳しくなりました。

図書館スタッフ　いいですね！歴史小説の入口として、 図書館員目線でも司馬遼太郎作品はおすすめです。図書館をご利用いただく事もあるのでしょうか？

棚園先生　図書館には時々、本を借りに行くというよりは漫画を描きに行っています。
10 年ほど前には、まだ清須市に図書館がなく、稲沢市の中央図書館へ毎日のように漫画のネームを描きに行っていました。もし当時清須市立図書館があれば、それこそ朝から晩まで毎日通っていたと思います。笑

ただいま続編を執筆中！

図書館スタッフ　では最後に、今後どのような作品を作りたいか、もしくは作る予定など……コッソリ聞かせて頂いてもよろしいですか？

棚園先生　今は『学校へ行けない僕と 9 人の先生』の続編を執筆中です。来年には発表できるように頑張っています。

図書館スタッフ　！続きが出るのですね……！単行本が出る際には、当館でも購入させて頂きます。この作品が、少しでも多くの苦しんでいるお子さんや、周囲の人々に届けばいいなと思います。

棚園先生　他にも幾つか描いてみたいテーマはあるのですが、まだ言葉にするとフワッと散ってしまいそうな段階なので内緒です。笑

図書館スタッフ　今後も応援させて頂きます。棚園先生、今回はたくさんのお話しを聞かせていただき、ありがとうございました！

来月は棚園先生を図書館にお招きし、イベントを開催予定！

続報は広報清須 12 月号 図書館だより 12 月号にて！お楽しみに！

新刊・イベントなど棚園先生の最新情報は Twitter をチェック！

@tanazono

オランダ絵本と音楽のひととき

絵本『ようこそロイドホテルへ』作者の野坂悦子氏と鍵盤楽器奏者の佐伯恵美氏を図書館にお迎えし、トークと演奏、朗読、そして映像で、『ようこそロイドホテルへ』とオランダ文化の魅力を新たに表現します。

プログラム

1 「絵本を愛して」野坂悦子さんによるトーク
2 「音楽を愛して」佐伯恵美さんによるピアノ演奏
3 『ようこそロイドホテルへ』朗読と音楽で楽しむ絵本

【と　き】**11月3日(祝・日)** 午後2時～3時30分
【ところ】1階交流テラス
【申　込】不要　【参加費】無料

同時開催

『ようこそロイドホテルへ』パネル展
期間 **11月3日(祝・日)～11月22日(金)**
※どなたでも期間中無料でご覧頂けます。

相続や事業継承。遺された大事な家族のために、どのように準備をすればよいのかを、本当にあった事例をもとに相続の専門家がお話しいたします。

【とき】**11月2日(土)** 午前11時～12時30分（休憩10分）

昨今、女性の「ライフプラン」や「マネープラン」の必要性が高まっています。老後2000万円問題など、人生で必要なお金の解決方法を分かりやすく教えます。

【とき】**11月3日(日)** 午前11時～正午

【ところ】2階研修室　【定　員】30名　【持ち物】筆記用具　【参加費】無料
【講　師】藤木誠也 氏（2級ファイナンシャルプランニング技能士（日本FP協会会員 AFP）、相続診断士）
【申　込】上記セミナーのお申込については、電話または1階カウンターにてスタッフにお尋ねください。

1階児童企画

えほんのたからばこ

図書館おすすめの絵本や、季節の本を集めました。一生の宝物になるような、本との出会いがあるかも！

「やさいさん」（E/ヤサ/17）
ツペラ ツペラ（tupera tupera）//作

秋も深まり、ますますたくさんのおいしいものに出会える実りの季節がやってきましたね。畑でも、いろいろな「やさいさん」に出会えそう。でも、土の中にかんくれんぼ。「すぽーん」にんじんさんでした。さぁ、次に出て来るのは…？とても楽しいしかけ絵本です。

2階一般企画

おいしい本みつけた！

作中に「おいしいフレーズ」が出てくる本を集めました！スタッフおすすめの「おいしい本」、ぜひ味わってみてください。再現レシピ本などもアリ。

「ひと皿の小説案内 主人公たちが食べた50の食事」
ダイナ・フリード //著
阿部公彦 // 監修・訳（902.3/フ/15）

『不思議の国のアリス』『ハイジ』『グレートギャッツビー』など、名作に出てくる食事シーンを再現した本。原作の文章と美しい写真で、主人公たちの食事が味わえます。食べ物や作品の小ネタも盛りだくさんの「おいしい」1冊です。

11月のおはなし会

※プログラムの内容は変更することがあります。詳細はお問い合せください。

図書館スタッフによるおはなし会も毎月開催中！

図書館スタッフによるおはなし会

乳幼児向け（0～2歳） 第1･3日曜日 午前11時～20分程度

幼児向け（3～5歳） 第2日曜日 午後3時～20分程度

としょかんクラブ エルマーの会

小学生向け（会員制） 第3土曜日 午後3時から30分程度

※入会はいつでも可能（無料）

日　時		場　所	内　容	主催団体	対　象
2日(土)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	おはなし会	びわっ子	幼児・児童
6日(水)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	おはなし会	おはなしぱぴぷぺぽ	乳幼児
9日(土)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	耳からの読書	家庭文庫どんぐり小屋	幼児・児童
10日(日)	11時30分～正午 12時30分～13時	1階おはなしの部屋	英会話クラブ	清須市立図書館	児童 英会話に慣れた方
14日(木)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	わらべうたを楽しむ会	家庭文庫どんぐり小屋	乳幼児
15日(金)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	おはなし会	おはなしぱぴぷぺぽ	乳幼児
16日(土)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	英語絵本の読み聞かせ	ハローキッズ	幼児・小学校低学年
23日(土)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	おはなし会	びっくりばこ	乳幼児
28日(木)	午前11時～11時30分	1階おはなしの部屋	わらべうたを楽しむ会	家庭文庫どんぐり小屋	乳幼児

11 2019 NOV

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12 2019 DEC

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

利用案内

開館時間 午前10時～午後7時

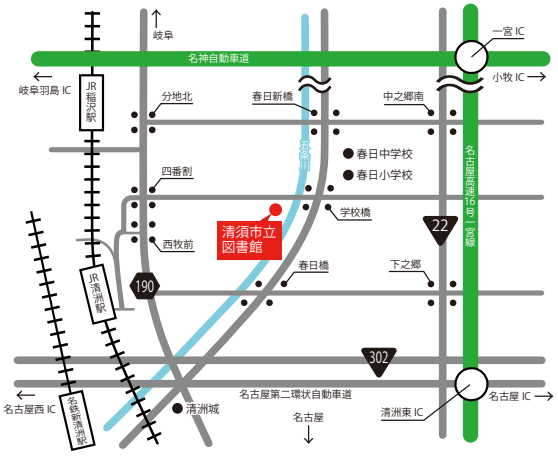
休館日
- 月　曜　日（当該月曜日が休日の場合は次の平日）
- 年 末 年 始（12月29日～1月3日）
- 館内整理日（毎月末日、但し当該日が休館日又は土・日・祝日にあたる場合は直前の平日）
- 特別整理期間（年1回）

アクセス
- ＪＲ東海道本線「清洲」駅より徒歩20分
- きよすあしがるバス　さくらルート「夢広場はるひ」下車すぐ
  オレンジルート「夢広場はるひ」下車すぐ
- 名古屋高速道路　一宮方面から▶春日出口より約5分
  名古屋方面から▶清須出口より約5分

発行元

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1
【ＴＥＬ】052-400-1044(トショ)【ＦＡＸ】052-400-1114
【Ｈ　Ｐ】http://www.library-kiyosu.jp/

清須市立図書館 KIYOSU CITY LIBRARY

※清須市の市有施設である清須市立図書館は、指定管理者代表構成員㈱図書館流通センターが管理・運営を行っています。

アクセス